



# 高田小学校だより

令和2年12月23日 第9号 文責 宮本

## 2学期が終わります



本当に今までにない長い長い2学期でした。8月20日の暑い日に始まりましたが、今は毎日震える寒さとなっています。本来たくさんの行事がある2学期ですが、今年は縮小したり、形を変えたりすることで実施できました。運動会や時期を変更した修学旅行・集団宿泊などです。子供たちにとっては制約の多い毎日ですが、元気に頑張ってくれました。日々のマスクや手洗い・消毒も習慣となりました。本当に例年と違うことばかりですが、無事に2学期が終わり安心していきます。感染レベル5となり心配もありますが、新しい年はもっといいことがたくさんある事を願っています。



8月20日2学期始業式・・・セミが鳴いていました



24日の終業式では2学期の頑張りや成長についてこんな話をします。

・みんなで頑張ったこと、それはあいさつです。立ち止まって先にあいさつをすることがとても上手になりました。

・がんばったと思うことは、運動会です。例年とは違う制限や変更だらけの運動会でした。また競技の数もいつもより少なかったけれど、一緒に懸命に走り、踊るみなさんの姿とその笑顔がとても素晴らしかったです。



そして12月・・・寒い中頑張っています



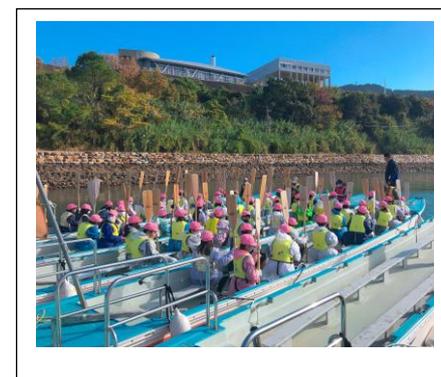
今年は「例年とは違う」という言葉をたくさん使った気がしますが、その中でも子供たちは一生懸命に学び、活動し、成長しました。保護者の皆様のご協力とご理解があったらできたこともたくさんありました。ありがとうございます。



### ありがとうございます！

清流高校近くのセブンイレブンから子供用のマスクをたくさんいただきました。(箱一杯あります)本当にありがたいです。大切に使いたいと思います。





12月上旬の熊日新聞に本校6年男子児童の記事が掲載されました。ご覧になった方も多いたと思いますが、子どもの医療用ウィッグ(かつら)に活用される「ヘッドネーション」(髪の毛の寄付)のため、約3年かけて伸ばした髪を40センチ近く切ったという記事です。「男子でもできると分かってもらえたら、困っている人が使ってくれたらうれしい」という言葉が印象的でした。「人の役に立ちたい」という気持ちは私たちも見習うべき尊いものです。実はその記事が出て数日後に熊本市の方から学校に葉書が届きました。「記事を見てとても感動しました」とありました。「自分の娘もヘッドネーションをしたことがあるので思った以上に大変なのは分かります。勉強や運動を活発にやっている6年生、しかも男の子なので苦労と勇気はいかばかりだったかと胸が熱くなりました。ご家族や先生、お友達の応援にも感動しました」という文が書いてありました。他人を思いやる優しい心は人の心を動かすということを実感しました。「善意の連鎖」という言葉が浮かびました。彼の思いを学校でもしっかりと共有し広げていきたいと思っています。